

談話会のご案内

以下の要領で談話会を開催致しますので、ご案内申し上げます。
皆様のご参加をお待ちしております。

日時: 2009年7月3日(金) 17:00 ~

場所: 芝浦工業大学・大宮校舎5号館(旧・システム工学部棟) 341 教室

講演者: 高橋 大輔 氏(早稲田大学 基幹理工学部 応用数理学科)

講演題目: 超離散化で理解するデジタル系

講演概要:

現象の数理モデルを表現する手段として、連続変数を用いる微分方程式、座標を離散化した差分方程式、セルオートマトンに代表される全変数離散のデジタル系などさまざまなものがある。これら離散性の異なる数理モデル同士を直接的に結びつける手法として超離散化が開発された。この手法により、系の離散性の違いを超えて解構造を共通の基盤の上で理解することが可能となり、特にデジタル系を解析学的な見地から把握することに成功した。このような特徴を持つ超離散化について、基礎から応用までを具体例を豊富に挙げながら解説する予定である。

これに先立ちまして、超離散化法の勉強会を以下の要領で実施いたします。

日時: 2009年6月30日(火) 18:10 -

場所: 芝浦工業大学・大宮校舎5号館(旧・システム工学部棟) 342 教室

講師: 鈴木 達夫 氏(芝浦工業大学)

また10月にも以下の要領で談話会を企画しております。

日時: 2009年10月2日(金) 未定

場所: 芝浦工業大学・大宮校舎5号館(旧・システム工学部棟) 374 教室

講演者: 西成 活裕 氏(東京大学大学院 工学系研究科 航空宇宙工学専攻)

講演題目: 渋滞の数理

講演概要:

車や人を粒子とみなすと、それらは自分自身で動くことのできる自己駆動型の粒子である。こうした粒子が集団になると渋滞が発生する。渋滞は車や人だけでなく、インターネット、物流、そして我々の体内でも起こっている。こうした渋滞がなぜ起こるのかを新しい数理物理的アプローチで研究する渋滞学を紹介する。講演では研究の手法やこれまでに得られた知見を理論と実験とを交えてわかりやすく示す。

会場へのアクセスは以下の URL をご参照ください。

<http://www.shibaura-it.ac.jp/access/>

主催: 芝浦工業大学 システム理工学部 数理科学科

連絡係:

赤木 剛朗 g-akagi@shibaura-it.ac.jp

石渡 哲哉 tisiwata@shibaura-it.ac.jp

談話会のホームページ:

<http://www.se.shibaura-it.ac.jp/mathsci/seminar.html>